

令和5年度

教育民生常任委員会所管事務調査

報 告 書

所管事務調査テーマ

- 1 平川市立平賀東中学校改修工事の状況確認について
- 2 平川市学校給食センターにおける物価高騰対策について

平川市議会

- 1 調査日時 令和6年2月8日(木)
平賀東中学校 午前9時25分から10時30分
学校給食センター 午前10時40分から11時40分
- 2 調査場所 平川市立平賀東中学校
平川市学校給食センター
- 3 出席委員 山谷洋朗委員長 石田昭弘副委員長 小野 誠委員 葛西勇人委員
齋藤律子委員 (オブザーバー 石田隆芳議長)
- 4 説明者 平賀東中学校 舘山知昭教頭
教育委員会 学校教育課 高阪 仁課長 葛西孝弘課長補佐
船水政孝係長 倉光 伸主事
学校給食センター 赤平優希所長 成田 剛所長補佐
工藤弓子栄養主任
- 5 出席職員 議会事務局 浅原 勉次長補佐 佐藤日向子主事
- 6 調査事項
(1) 平川市立平賀東中学校改修工事の状況確認について
(2) 平川市学校給食センターにおける物価高騰対策について
- 7 調査目的
(1) 平賀東中学校の改修工事が令和5年8月で完成となったことから、どのような改修工事で生徒が安全安心に学べる校舎となったかを現地調査します。
(2) 学校給食センターにおいては、昨今の材料費・光熱費高騰に際し、どのような対策を講じ、児童生徒が満足する給食を提供しているのかを現地調査します。
- 8 調査の進め方
(1) 平賀東中学校では、担当部署より工事の概要説明を求め、改修工事された現場を調査します。
(2) 学校給食センターでは、担当部署より物価高騰対策について説明を求め、実際に提供されている給食を実食します。
- 9 配付資料
(1) 平賀東中学校
・平賀東中学校大規模改修事業の概要について

(2) 学校給食センター

- ・平成26年度以降の給食収入と賄材料費支出状況等資料
- ・給食試食会（本日の献立など）

10 調査結果

(1) 平川市立平賀東中学校改修工事の状況確認について

ア 事業概要

- ①対象となる棟名 平川市立平賀東中学校校舎、体育館
- ②竣 工 年 校舎棟 平成2年（1990年）
体育館棟 平成3年（1991年）
- ③改修に至る経緯 現在の建物は平成2年に建てられ、築30年以上経過している。これまで、玄関ホールや体育館の雨漏り、内壁の破損などの修繕について単独事業として実施する計画としてきたが、空調設備整備時に校舎屋上からの雨漏りが発生したことなどを受け、個別単独工事ではなく大規模改造事業へのシフトが適当との判断に至った。
- ④事 業 費 総事業費 376,318,635円（設計・監理事務、付帯工事含む）
国庫補助金 119,176,000円（学校施設環境改善交付金）
起債（見込）242,500,000円

イ 主な改修内容

【校舎棟】

①外部

- ・屋上防水改修（屋上防水シートの更新）
- ・外壁改修（クラック部分を補修し、塗材吹付）
- ・玄関スロープの新設
- ・玄関電気錠サッシへ改修
- ・トップライト漏水の改修（ガラスのトップライトから金属屋根へ改修）

②内部

- ・多目的トイレの設置
- ・床、内壁、天井改修（廊下及び普通教室のみ）

【体育館棟】

①外部

- ・屋根改修（カバー工法）
- ・外壁改修（クラック部分を補修し、塗材吹付）

②内部

- ・床改修（研磨及び塗装）
- ・壁改修（破損した壁の改修）

【その他】

電気設備、機械設備の更新など含む

ウ 現地調査

①令和4年6月18日から令和5年8月31日まで、齋杉・工藤特定建設工事共同企業体を実施した、平川市立平賀東中学校大規模改修工事における主な改修内容を現場調査し、概ね問題ないことを確認しました。

例えば、雨漏りしていた校舎棟や体育館棟の屋根の改修状況や、校舎棟の玄関に新設したスロープ、電子錠及び人感センサー付き照明を確認しましたが、これについては、教頭より、大変助かっているとのコメントがありました。

②石田昭弘副委員長より、クラックとは何かの質疑があり、学校教育課より、ひび割れのことであるとの回答がありました。

③山谷洋朗委員長より、シャワールームは機能しているかの質疑があり、教頭より、現在未使用であるとの回答がありました。

④全学年と教職員が給食を一緒に食べるランチルームを見学しました。これは、平賀地域の小・中学校のみの特有の文化。ランチルームは、学年分け隔てなく給食を食べることで仲間意識を助長し、また、フードロスも防止できるとも面白い取組であると感じました。もっとも、昨今の猛暑の影響で、夏季はクーラーが設置されている教室で、クラスそれぞれで給食を食べているとのことでした。

(2) 平川市学校給食センターにおける物価高騰対策について

ア 物価高騰による1人当たりの給食費の推移

	(令和5年度当初)	(令和5年12月)	(令和6年度予定)
小学校	260円 (+28円)	⇒ 279円 (+19円)	⇒ 300円 (+21円)
中学校	280円 (+28円)	⇒ 299円 (+19円)	⇒ 360円 (+61円)

ちなみに、令和5年度の県内他市の状況は以下のとおりです。これを見ると、当市は人口比で供給量が少ないながらも、効率的な運用で価格を抑えていることが分かります。もっとも、来年度は、他市も当市同様に値上げの予定であるとのことでした。

	平川市	弘前市	八戸市	つがる市(旧森田村)
小学校	260円	260円	288円	305円
中学校	280円	300円	349円	335円

イ 物価高騰の影響を受けている食材のトップ10

順位	品名	値上げ率%
1	白菜（茨城）	95.3
2	キャベツ（平川市）	68.0
2	大根（平川市）	68.0
4	鶏ももから揚げ	59.1
5	人参（茨城）	48.2
6	津軽（本醸造醤油）	47.5
7	じゃがいも（国産）	43.8
8	パインチビット	40.3
9	鶏むね肉 皮なし	38.9
10	チキンのオーブン焼（チーズ）	38.2

ウ 令和5年度決算見込での学校給食センター燃料費の状況

電気代の高騰がかなり影響している状況です。今年度は、さらに大型温水器が故障したり、猛暑でエアコン稼働率がアップしたことも、電気代高騰の一因にもなっているとのことです。

	（当初予算）	（決算見込）	（予算残見込）
電気代	27,660,000 円	29,927,838 円	2,267,838 円（不足）
上下水道代	6,764,000 円	6,582,152 円	181,848 円
ガス代	1,712,000 円	1,722,721 円	10,721 円（不足）
合計	36,136,000 円	38,232,711 円	2,096,711 円（不足）

エ 令和5年度（4月から9月）給食における地元産食材利用率

重量計算で、20.1%（ちなみに、令和4年度19.5%、令和3年度20.2%）となっており、さらなるアップを目指しています。

オ 現地調査

①主な供給業者は、学校給食会（青森市）、かくみつ食品（弘前市）、三栄商店（黒石市）、嶋津商店（青森市）、竹鼻製麺所（五所川原市）、ヤマイシ（青森市）の6社。

②葛西勇人委員より、コスト低減のために、生産者や加工業者から直接購入できないかの質疑があり、納品条件（8時から8時半までの間に納品する条件）が合わず断念しているとの回答がありました。また、令和5年度よりアグリアスからの供給も開始しましたが、納品条件のみならず、支払条件（現金支払のみ）も課題となっているということでした。

③納品条件について、小学校の給食開始時間が12時(中学校は12時20分。ただし、学校によってまちまちとのこと)で、調理時間が約2時間半、配送時間が約1時間半(礎ヶ関は1回、その他は3回配送)と考えると、緩和することは困難です。なお、調理時間削減のために野菜をカットして納入してもらうなど、手間を省く食材も活用していますが、それでも納品条件緩和まではいかない模様です。

④米粉ムースなど一部食材については、コスト面なども考えて倉庫に貯蔵しているとのこと。ちなみに、倉庫には保険をかけていないとのことでありました。

カ 提供されている給食の実食

今回は、市内小・中学校で人気の高いエッグカレー(福神漬け付)、牛乳(萩原牛乳)、サンふじを実食しました。

1食分の栄養のバランスも考えられており、食材、料理法など工夫されたメニューを提供しているとのことでした。

11 調査時の様子

(1) 平賀東中学校



(2) 学校給食センター



12 調査所感

(1) 山谷 洋朗 委員長

ア 平賀東中学校

大規模な改修工事を終えた母校の姿を見て何とも感動した。

雨の降り続いたときの悩みの種でもあった校舎内の雨漏りの心配もなく、青いポリバケツの出番もなく、快適な学校生活を過ごしているとの話を聞いてほっとした。

また、廊下や壁の配色は生徒が考案したということもあって、工事完成時の生徒の喜んだ様子が目に浮かぶ。生徒個々の家での生活時間の次に長い時間を費やす学校は、生徒にとって、我が家同様愛しいものであると思うので、今後も安全、安心な生活ができる空間として、東中学校のさらなる発展を願って、楽しく充実した学校生活を送ってくれることを望んでいる。

イ 学校給食センター

物価高騰の中、給食費を値上げすることもなく、味や栄養バランスの変わらぬ給食を提供なさっている関係者に心から敬意を表します。今後は、給食費の価格を上げざるを得ないという話を伺いましたが、現在の状況を踏まえると、当然必要だと考えるのであまり気にしないでほしいと感じています。そして、今後も地場産の食材をできる限り用いて、栄養バランスの取れたおいしい給食を児童生徒に提供してくれることを願っています。

数年ぶりに食べた給食のカレーは、以前と変わらぬおいしさでした。

(2) 石田 昭弘 副委員長

ア 平賀東中学校

最初に、教育委員会学校教育課学校管理係より、平賀東中学校大規模改修事業の概要について説明を受け、質疑応答後、舘山知昭教頭の案内で、校舎、体育館の改修対象となった箇所を順次説明を受けながら状況確認を行った。

改修前の状態が分からないので比較できないが、改修前を知る委員からは見違えるようだとの声が上がった。多目的ホールの壁面には、生徒が選んだという青のストライプが塗られ清涼感があり、学習環境に相応しい色合いになっていた。暖房設備が遠赤外線輻射暖房機へ更新された体育館は、外の寒さを忘れるくらいに暖かく、短いウェア姿で授業を受けていた生徒がいた。

改修の結果、生徒が安全安心に学べる校舎となっている状況が確認できた。ただし、2か所ほど不具合が発見された。1か所目は、1階手洗い所の照明器具。LEDではなく蛍光灯であった。2か所目は、新設した玄関スロープの手すり。工事後1年もたたずに、表面に赤茶けたさびらしき汚れが全体に付着していた。

翌日、学校教育課の担当者から、不具合になった原因の報告を受けた。照明器具は、今回の改修工事に含まれておらず、以前、LED化の工事を行った際に、学校が建てられた時の設計図を基に行ったため、後付けの手洗い照明器具は見落とし、

交換されなかった。また、玄関のスロープの素材はステンレス、拭き取るなどで対処するという内容だったが、ステンレスの手すりについては、工事完成から半年にも満たないことから、基準を満たした素材なのかを含め、施工業者と早急に現場確認が必要と思われた。

イ 学校給食センター

学校給食センターの所長、所長補佐、栄養主任による資料を基にした説明を受け、材料費・光熱費高騰がセンターの運営に深刻な影響を与えていることが実感できた。

価格高騰の厳しい現状の中で、材料費を抑える対策の実例として、ポテトサラダがあった。出来合いのものから10ミリメートル角切りに切り替えることで、作業にひと手間かかるが、税込880円から698円に価格を下げる事ができた。しかし、それでも急激な価格高騰に対応できないことから、令和6年度から給食費を値上げすることになる旨の説明を受けた。

職員と委員による質疑応答や活発な意見が交わされた後、給食を実食した。地元食材の消費を推進していることから、2月は、広船産の葉取らずサンふじ、木村養鶏のたまご、大光寺のみそ、市産のつがるロマンを給食に取り入れていた。

そして、当日の献立は、エッグカレー、福神漬け、牛乳、サンふじ。うずらのたまごが入ったカレーは珍しいということで初めて食べたが、小さいながらも味が濃厚でカレーのうま味が引き立ち、とてもおいしかった。さすがカレーは、児童生徒の給食人気ナンバーワンと実感した。広船産の葉取らずりんごの皮付サンふじもおいしくいただいた。

材料費・光熱費が高騰している中で、児童生徒の栄養バランスに配慮したおいしい給食を提供している給食センター職員の努力の姿勢を見ることができた。

忙しい中、今回の調査に協力くださった職員の皆様に、心から感謝申し上げます。

(3) 小野 誠 委員

ア 平賀東中学校

改修工事は非常に総合的で、校舎の安全性と利便性を向上させるため重要な要素をカバーしているように感じました。特に、玄関スロープの新設は、車いす利用者や高齢者など全ての人々が校舎に容易にアクセスできるようになり、災害時における避難所活用にも寄与すると思いました。

また、校舎内の床、内壁、天井改修で校舎内環境が改善され、床の色は生徒が提案した水色が採用されたことで校舎内全体が明るいイメージとなり、生徒の学習環境がより快適になったと思います。

イ 学校給食センター

学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達に資するものであり、児童生徒の食に関する正しい理解と適切な判断力を養う上で重要な役割を担っています。当市給食

センターでも、おいしい給食であることはもちろんのこと、栄養のバランスや食材、料理方法など工夫されたメニューを友達と楽しく食べることで、子供たちが健やかに成長することを願って実施している様子に安心しました。

このような中で、物価高騰の昨今においては安全安心で安価な食材を活用するなど、工夫を凝らしておりましたが、自助努力の及ばぬ食材費・光熱費の値上がりが顕著であり、給食費の値上げはやむを得ないものと感じました。

我々の実食に提供された給食は「うずらの卵が入ったエッグカレー」。食べ終わった子供たちの会話が自然と始まりそうな、珍しくどこか懐かしいカレーでした。

(4) 葛西 勇人 委員

ア 平賀東中学校

平賀東中学校の校舎並びに体育館は平成2年度に建設され、築30年以上経過し、玄関ホールや体育館の雨漏り、内壁の破損などが発生していたが、今回の改修で解消した。またスロープや電子錠、人感センサー付き照明を設置したことで利便性も高まった。さらに、壁面の色を生徒に選んでもらうなどして、校舎・体育館への愛着も広がっていると感じた（きれいに清掃もされていた）。

教師の働き方改革が叫ばれている中、校舎等の内外の破損箇所を早期に改修することは、先生たちの手間の削減にも通じる（例えば、雨漏りが発生していた時は、バケツ設置などの手間が発生していた）し、また、電子錠、人感センサー付き照明を取り付けることで、教師や生徒の安心安全にもつながることを考えれば、今後も定期的に学校側から施設整備に関するニーズを吸い上げて、早期対応をしていくことが大事であると考えている。

イ 学校給食センター

今回の調査において、学校給食センターでは、物価高騰の影響を受けながらも、給食費の価格アップを抑えるよう努力していることが分かった。来年（令和6年）度は、更なる価格アップとなるが、苦渋の決断とのこと。当市は給食費の無償化を実現していることで、子育て世代（親）への負担はないが、その分、市の財政負担が増えることになるため、今後も市議会として監視をしていかなければならないと考えている。

給食を実食させていただいたが、久しぶりに懐かしい器で、美味しくいただけ感無量だった。今後も機材やコスト、栄養面などを考慮しながらも、市内の生徒や子供たちの意見に沿ったメニュー提供できるよう、市議会として機材や予算面などの調査、検討をしていきたい。

私が小さい頃に人気のあったやきそばは、調理機材の容量の関係で原則提供できていない（特別に提供することもあるとのこと）とのことで、大変残念に感じました。

ちなみに、私たちが給食を食べている頃は、粉のミルメークを牛乳に入れて飲ん

でいたが、現在は液体のそれをストローから牛乳に注いで飲んでいるとのこと。給食も進化してきていることを実感しました。

(5) 齋藤 律子 委員

ア 平賀東中学校

大改修により、長期にわたり確認されてきた体育館や玄関のエントランスの雨漏りも解消され、以前の雑然とバケツが並ぶ光景がなくなったことは、大変よかったですと思いました。

雨漏りの原因だったエントランス天井は、屋根で覆われましたが、採光には大きな影響がなく、十分な明るさが確保されていました。

生徒が決めたという壁、廊下、階段の色調は、白とブルー系に統一され、落ち着いた雰囲気となり、最適な学習環境に改修されていました。

イ 学校給食センター

当日の献立は、エッグカレーに皮つきりんご4分の1、牛乳の献立でした。

試食を通して感じたことは、塩味や旨味などの味はよいと思いましたが、できればもう1品の副菜がほしいというのが感想です。りんご4分の1の提供は、おかず1品の手間に相当するということでしたが、少し物足りなさを感じました。

給食センターの説明から、調理時間、調理員の人数、給食費等与えられた範囲での給食提供は、物価高騰も加わり、大変苦勞している現状を垣間見ることができました。

地場産品20%達成とともに、物価高騰の中、質を落とさないで栄養バランスに優れた魅力のある、おいしい学校給食を追求してほしいと願っています。